



## 感謝のところで



「こんにちは！寒くなりましたね」  
今日も近所の方々と笑顔のキャッチ  
ボール。＼幸せ＼の瞬間です。

熊本市から益城町に移り住んで三  
十四年。当時からすると、すっかり  
便利で住み良い町になりました。毎  
日主人と犬の散歩をしています。が、  
変化する季節の景色や畦道に咲く  
花々に感動しながら「益城町に住ん  
で良かったね」と話しています。今  
は、益城町で生まれ育った方々と同  
じように「益城町大好き人間」です。

長かった勤めを十三年前に退職し  
ました。毎朝バタバタとバス停まで  
走る事もなく、青空を見ながらゆつ  
くり洗濯物を干せる、ささやかな幸  
せをかみしめた事をなつかしく思  
い出します。

退職したら何か好きな事を楽し  
みたい：の夢の第一歩は、郵便局の絵  
手紙教室へ。そして、益城町公民館  
講座の粘土教室、墨絵教室等々へ仲  
間入りをさせていただきました。そ  
こには地域の方々との嬉しい出会い  
がいっぱいありました。今では、  
日々の暮らしの中で励まし助けて下  
さる、ありがたい＼心の財産＼になっ  
ています。大切にしたいと思えます。  
憧れていた専業主婦になって、改  
めて気付き反省した事があります。  
私は長い間、どれ程多くの方々から  
の大きな支えをいただいていたか  
という事です。そのお蔭で勤めを続け  
させてもらったのだなあ：と感謝し  
ています。夢だった「ボランティア」  
の喜びも、今はうれしく味わわせて  
いただいています。

これからは、更に健康に気をつけ  
て、小さな力ではありますが「地域  
の方に何かお役に立てる事はない  
か」を常に探しながら、過ぎし日へ  
の＼ご恩返し＼をしていきたいと思  
います。

次回は馬水南のしのはらいさお篠原功さんに登場  
していただきます。



## 差別のない人権尊重の町づくり ～世界人権宣言 60 周年～



かつて、人権問題はそれぞれの国の国内問題と考えられてきました。しかしながら、20世紀には、世界を巻き込んだ大戦が二度も起こり、特に第二次世界大戦中においては、特定の人種の迫害、大量虐殺など、人権侵害、人権抑圧が横行しました。このような経験から、人権問題は国際社会全体にかかわる問題であり、人権の保障が世界平和の基礎であるという考え方が主流になってきました。

そこで、昭和23(1948)年12月10日、国連第3回総会(パリ)において「すべての人民とすべての国とが達成すべき共通の基準」として、「世界人権宣言」が採択されました。世界人権宣言は、基本的人権の原則を定めたものであり、それ自体が法的拘束力を持つものではありませんが、初めて人権の保障を国際的にうたった画期的なものです。

この宣言は、すべての人々が持っている市民的、経済的等各分野にわたる多くの権利を内容とし、前文と30条文からなっており、世界各国の憲法や法律に取り入れられるとともに、様々な国際会議の決議にも用いられ、世界各国に強い影響を及ぼしています。さらに、世界人権宣言で規定された権利に法的拘束力を持たせるため「経済的、社会的および文化的権利に関する国際規約(A規約)」など様々な条約が採択されています。これらの条約が保障する権利の内容を理解し、広めていくことが一人ひとりの人権を守ることに繋がります。

法務省・全国人権擁護委員連合会「世界人権宣言」より

お問い合わせ先 役場健康福祉課 人権対策係 ☎286-3111 内線131